

単元まるごと計画「いま なんじ？」（全4時間）

単元のゴール（can-do）：時刻のたずね方・答え方（What time is it? / It's 8:30.）に慣れ親しみ、自分の好きな時間を伝え合うことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	時刻の言い方と、What time is it? / It's ○○. のやり取りに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	自分の生活をふり返って、好きな時間（○○タイム）を理由とともに伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	友だちの生活時間と自分をくらべながら、すすんで時刻をたずね合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全4時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	—	時刻の言い方と出会う（時計カード）・なんじかな？ポインティング	歌＋数の復習（1～12）	記録なし
2	—	○○タイムの言い方（Snack Time!）・ジェスチャーで当てっこ	What time is it? の帯	記録なし
3	—	ジェスチャーで○○タイム（グループ戦）	時刻の帯＋チャンツ	◎ 行動観察（見取りメモ）
4	—	わたしの好きな時間トーク（マイ時計を作って伝え合う）	時刻の帯	◎ 振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・いまなんじ？	—（教室の時計！）
5-12	時計カードで練習	とけいカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 時刻は「〇時」「〇時半」まで（〇時〇分の細かい読みはやらない。算数ではないので）
- 2. ジェスチャー当て（活動2）は代表戦だけでもよい
- 3. マイ時計のかざりつけは休み時間へ（英語の時間は「伝え合い」に使う）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ とけいカード（提示用1部＋黒板掲示）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）＋シート2（先生用・1部）
- ☐ 教室の時計（第1時の最初の教材はこれ）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・生活時間は家庭によって大きくちがう（塾・習い事・家の事情）。「9時に寝るのが正しい」のような正解を作らない。好きな時間の理由も発表を強制しない
- ・時計の読みが不安な子には、カードの「時計＋絵」のセットがヒントになる（絵→タイムの名前→時刻、の順でたどれる）
- ・ジェスチャーが苦手な子は「時計の針ポーズ」（腕で針の形）という逃げ道を用意

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・第1時の最初の教材は教室の時計。「いま何時？」を英語にするだけで、毎日の生活が教材になる（単元後も日直の仕事に輸出できる）
- ・〇〇 Time の言い方（Snack Time!）が、この単元の心臓部。時刻の数字より「時間に名前をつける」楽しさを前に出す
- ・What time is it? はチャンツのリズム（ワッタイム・イズイッ?）でかたまりのまま。7:30 は seven thirty と数字2つでよい（o'clock は7:00のような「ちょうど」だけ）
- ・◎見取りは第3時「タイムの言い方で反応できているか」第4時「好きな時間を伝えようとしているか」